

令和7年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校スケート大会
長野市実行委員会総会（第2回）

資料集

○第46回大会要項 P 1-11

○式典要項 P 12-13

○練習（有料練習・公式練習）要項 P 14-15

○医療救護要項 P 16-19



全国中学校スケート大会長野市実行委員会

大会要項

1 目的

本大会は、中学校教育の一環として、中学校生徒に広くスケート競技実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦を図るものである。

2 主催

(公財)日本中学校体育連盟 (公財)日本スケート連盟 長野市 長野市教育委員会

3 共催

長野県教育委員会

4 主管

長野県中学校体育連盟 長野県スケート連盟 長野上水内中学校体育連盟 長野市スケート協会

5 後援

スポーツ庁 全日本中学校長会 全国都道府県教育長協議会 全国市町村教育委員会連合会
(公社)日本PTA全国協議会 日本私立中学高等学校連合会 NHK 全国新聞社事業協議会
毎日新聞社 長野県 長野県中学校長会 (公財)長野県スポーツ協会 長野県市町村教育委員会連
絡協議会 長野上水内中学校長会 (公財)長野市スポーツ協会 信濃毎日新聞社 SBC信越
放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州 a b n長野朝日放送

6 特別協賛

大塚製薬株式会社、菅公学生服株式会社

7 協力

(公財)村石スポーツ振興財団、(公財)ヨネックススポーツ振興財団

8 会期

令和8年1月31日(土)～2月3日(火)

開始式	スピードスケート	1月31日(土)
	フィギュアスケート	2月1日(日)
競技	スピードスケート	1月31日(土)～2月3日(火)
	フィギュアスケート	2月1日(日)～2月3日(火)
閉会式(競技別に実施)		2月3日(火)

*スピードスケート競技については、1月30日(金)代表者会議及び有料練習日(予約制)を設定する。

詳細「練習(有料練習・公式練習)要項」参照

9 会 場

スピードスケート競技	エムウェーブ (長野市オリンピック記念アリーナ) 〒381-0025 長野市大字北長池 195 Tel 026-222-3300
フィギュアスケート競技	ビッグハット (長野市若里多目的スポーツアリーナ) 〒380-0928 長野市若里 3-22-2 Tel 026-223-2223

10 競技種目

(1) スピードスケート競技

【男子】 500m 1000m 1500m 3000m 5000m

【女子】 500m 1000m 1500m 3000m

(2) フィギュアスケート競技

【男子・女子】 シングルスケーティング ショートプログラム、フリースケーティング

11 競技日程

(1) スピードスケート競技

★印：カルテット

1月30日 (金)	10:00-15:45 14:30～ 16:00～	※ 事前申込者は有料練習 (10:00-15:45) 日本中体連競技部会 (エムウェーブ会議室) 代表者会議
1月31日 (土)	7:00	開場 (選手、監督・コーチ)
	7:40 - 9:10	公式練習 (当日の種目参加者以外)
	9:40 - 10:10	開始式
	10:10 - 10:50	ウォームアップ (3000m 参加者のみ)
	11:20 - 14:20	①男子 3000m決勝★
1月31日 (土)	14:20 - 14:50	ウォームアップ (女子 3000m参加者のみ) 男子 3000m 表彰
	15:20 - 17:00	②女子 3000m決勝★
	競技終了後	公式練習 (40 分) 女子 3000m 表彰
2月1日 (日)	7:00	開場 (選手、監督・コーチ)
	7:40 - 8:20	公式練習 (当日の種目参加者以外)
	8:45 - 9:25	ウォームアップ (1000m 参加者のみ)
	9:50 - 13:20	① 男子 1000m決勝 ★
	13:20 - 13:50	ウォームアップ (女子 1000m 参加者のみ) 男子 1000m 表彰
2月1日 (日)	14:20 - 17:20	② 女子 1000m決勝★
	競技終了後	公式練習 (40 分) 女子 1000m 表彰

2月2日 (月)	7:00	開場 (選手、監督・コーチ)
	7:40 - 8:20	公式練習 (当日の種目参加者以外)
	8:45 - 9:25	ウォームアップ (5000m 500m 参加者のみ)
	9:50 - 12:20	① 男子 5000m決勝★
	12:20 - 12:50	ウォームアップ (500m 参加者のみ) 男子 5000m 表彰
	13:20 - 15:20	② 女子 500m決勝 女子 500m 表彰
15:50 - 17:50	③ 男子 500m決勝	
競技終了後	公式練習 (40 分) 男子 500m 表彰	
2月3日 (火)	7:00	開場 (選手、監督・コーチ)
	7:40 - 8:20	ウォームアップ (1500m 参加者のみ)
	8:40 - 10:10	男子 1500m決勝★ 男子 1500m 表彰
	10:30 - 11:50	女子 1500m決勝★ 女子 1500m 表彰
	競技終了後	閉会式

※ 競技日程は参加者の状況、競技進行状況等により変更する場合がある。

(2) フィギュアスケート競技

1月30日 (金)	14:30-	日本中体連競技部会 (エムウェーブ会議室)
1月31日 (土)	13:00	開場 (選手、監督・コーチ)
	14:30 - 17:20	公式練習 女子
	17:20 - 18:35	公式練習 男子
2月1日 (日)	7:30	開場
	8:00 - 8:30	開始式
	8:30 - 14:15	女子 ショートプログラムA
	14:30 - 17:05	男子 ショートプログラムA
	17:20 - 20:10	公式練習 女子 (ショートプログラムB)
	20:10 - 21:25	公式練習 男子 (ショートプログラムB)
2月2日 (月)	7:30	開場
	8:30 - 14:15	女子 ショートプログラムB ※終了後、F S滑走順抽選
	14:30 - 17:05	男子 ショートプログラムB ※終了後、F S滑走順抽選
	17:20 - 18:20	公式練習 女子 (F S出場者)
	18:35 - 19:35	公式練習 男子 (F S出場者)

2月3日 (火)	6:00	開場（選手、監督・コーチ）
	7:00 - 8:00	公式練習男子（フリースケーティング）
	8:15 - 9:15	公式練習女子（フリースケーティング）
	9:30 - 12:00	男子 フリースケーティング
	12:15 - 14:45	女子 フリースケーティング
	競技終了後	男女上位3名による模範演技(エキシビション)、表彰式、閉会式

※ 競技日程は参加者の状況、競技進行状況等により変更する場合がある。

12 競技規則

(1) スピードスケート競技

国際スケート連盟（ISU）規則、（公財）日本スケート連盟スピードスケート競技規則及び本大会要項による。

(2) フィギュアスケート競技

2025-2026 ISU 規定、（公財）日本スケート連盟競技規則及び本大会要項による。

13 競技方法

(1) スピードスケート競技（400m標準ダブルトラックCタイプを使用）

ア 競技は個人のみとする。

イ 男子、女子とも1,000m以上の距離はカルテットスタート競技方法を採用する。

ウ 組合せ及びスタート順

（ア）各距離とも、（公財）日本スケート連盟公式競技会における当該距離の自己最高公式記録により滑走順用ランキングを編成する。

（イ）各組の構成は（ア）によるランキングに基づいて決定し、上位から2名ずつ組み合わせる。各組のスタートレーンはランキングの上位者がインレーンとなる。公式記録が同じもの及び公式記録のない者は抽選により上位者を決定する（主催者による責任抽選）。

（ウ）スタート順は、タイムのない者、次にランキング下位の者から滑走する。

（エ）公式記録とは、前年度及び当年度申込み締め切り日までに開催された国際競技会を含む（公財）日本スケート連盟公式競技会における記録で（公財）日本スケート連盟が公表したものとする。

（オ）これらの調整は（公財）日本中学校体育連盟スケート専門部及び大会実行委員会により事前抽選を行い、代表者会議にて棄権者の確認後に確定となる。

エ 組み合わせ確定後、各種目開始予定時刻2時間前までに棄権者が出た場合は再編成を行う。

オ 各距離とも、最終順位はISU規則第265条、第268条及び第275条に従って決定する。

カ 各距離とも入賞は8位までとする。

キ 競技で着用するアームバンド（腕章）は、（公財）日本スケート連盟が公表した通知に基づき、各自で用意する。

(2) フィギュアスケート競技

ア 種 目 (男子、女子共通)

ショートプログラム

フリースケーティング (ショートプログラムの上位 18 名による)

イ 滑走時間

男子 ショートプログラム 2分 40 秒プラス/マイナス 10 秒

フリースケーティング 3分 30 秒プラス/マイナス 10 秒

女子 ショートプログラム 2分 40 秒プラス/マイナス 10 秒

フリースケーティング 3分 30 秒プラス/マイナス 10 秒

ウ 採 点

採点方式は、IJS 方式を採用する。

エ 音 楽

(ア) 提出する使用音源は CD とし、最初から再生できるものとする。

(イ) CD には、都道府県名、学校名および氏名を記入し、ショートプログラム用は受付時、フリースケーティング用はフリースケーティング滑走順抽選時に提出すること。

(ウ) 提出する音源の他に、必ず複製を用意し、有事の場合はその複製を直ちに提出できるように監督・コーチが準備しておくこと。

オ 内 容

男子：2025-2026 ISU ジュニア課題

女子：2025-2026 ISU ジュニア課題

カ 演技予定要素リスト

参加選手個人において令和 8 年 1 月 13 日 (火) までに (公財) 日本スケート連盟ホームページ内「JSFmyPAGE」 (<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>) より登録すること。

キ その他

(ア) フィギュアスケート競技のショートプログラム滑走順抽選は事務局の責任抽選にて行う。

(イ) ウォーミングアップグループの最大競技者については、ISU 規定第 349 条第 1 項を適用するが、技術代表及びレフェリーの判断により 7 名又は 8 名の場合もある。

14 参加資格

(1) 参加者は、都道府県中学校体育連盟に加盟する中学校に在籍する生徒で、当該競技要項の定める出場制限を満たし、全国大会参加資格を得た者とする。

(2) 年齢は、平成 22 (2010 年) 年 4 月 2 日以降に生まれた者に限る。

(3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の 6 月 30 日までに各都道府県中学校体育連盟を通して、(公財) 日本中学校体育連盟に申し出ること。

(4) 参加資格の特例

ア 学校教育法第 134 条の各種学校 (第 1 条に掲げられるもの以外) に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

イ 参加を希望する各種学校は、以下の条件を具備すること。

(ア) 全国大会への参加を認める条件

- a 日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - b 生徒の年齢および修業年限が日本の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - c 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育活動の一環として日常継続的に当該校顧問教師の指導のもとに、適切に行われていること。
- (イ) 全国大会に参加した場合に守るべき条件
- a 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - b 全国大会参加に際しては、責任ある当該学校校長・教員または部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - c 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

(5) 地域クラブ活動に所属する中学生

ア 地域クラブ活動に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

イ 全国中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。

(ア) 全国中学校体育大会の参加を認める条件

- a 日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- b 生徒の年齢および修業年限が日本の中学校と一致している(中学校に在籍している生徒であること)。
- c 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
- d 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」(令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出)の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
- e 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること。(登録費については、都道府県中学校体育連盟の方針による。)
- f 都道府県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
- g 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様とする。

(イ) 全国中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

- a 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- b 全国中学校体育大会参加に際しては、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること(引率細則は適用する)。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- c 全国中学校体育大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

(ウ) 競技部細則

- a 日本スケート連盟及び各都道府県中体連登録者であって、各都道府県の予選会を

通過、又は要項に記載の出場制限を満たし、参加資格を得たもの。

b 日本スケート連盟登録名で大会参加申し込みをする。(選手や保護者の意向によりクラブチーム名でも学校名でも可)

c フィギュアスケートについては、「選手が在籍する中学校所在地の都道府県より出場」すること。

(6) 個人情報の取扱い (利用目的)

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟個人情報保護方針・規程に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。

また、取得した個人情報は、大会の参加資格審査、大会プログラムの編成・作成、ホームページ、掲示板、報道・記録発表、記録集・報告書の作成及び大会運営に必要な連絡等に利用する。大会に参加する選手はこれに同意する。

大会主催者または、主催者が認めた報道機関等が撮影した写真及び映像は、大会主催者が管理のもと使用する。

15 出場制限

(1) スピードスケート競技 (男子・女子)

ア 日本スケート連盟バッジテストC級以上の者であること。ただし、各都道府県にC級以上の有資格者がいない場合は、各都道府県でD級取得者の中から1種目2名以内を参加させることができる。

イ 個人の出場制限は2種目以内とする。

(2) フィギュアスケート競技 (男子・女子)

ア 日本スケート連盟FDバッジテスト合格者で以下の者とする。

(ア) 男子 6級以上(総合)。ただし、6級取得者がいない都道府県については、5級取得者1名の出場を認めるものとする。

(イ) 女子 6級以上(総合)で、以下の条件によるものとする。

a 参加人員

参加人員は (a)基本枠+(b)日本スケート連盟推薦枠+(c)前年度実績枠+(d)開催都道府県枠 とする。

(a) 基本枠：各都道府県とも6級以上取得者1名とする。

(b) 日本スケート連盟枠：次の大会の成績による。

- ・前年度全国中学校スケート大会 10位以内
- ・本年度全日本フィギュア選手権大会 10位以内
- ・本年度全日本フィギュアジュニア選手権大会 10位以内
- ・本年度全日本フィギュアノービス選手権大会 10位以内
- ・その他、本年度の大会で際立った成績を収めた者

(c) 前年度実績枠：前年度の結果と6級取得者の状況により、(公財)日本スケート連盟フィギュア委員会及び(公財)日本中学校体育連盟スケート競技部が協議のうえ決定する。

(d) 開催地都道府県枠：(a)～(c)以外に1名とする。

(e) 女子参加総数は100名程度とする。

イ 男女ともに48人を超える参加申込がある場合は、ショートプログラムを2日間に分けて実施する。

16 参加料・滑走料・プログラム代

参加料は、参加選手一人につき、4,000円とする。

滑走料は、参加選手一人につき、4,000円とする。

プログラム代は、参加選手一人につき、2,000円とする。

17 引率者・監督

- (1) 参加生徒の引率者・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員^{※1}、地域クラブ活動の代表（指導）者とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「参加申込書」の監督者及び引率者の欄に指示されている印を付け、必要事項を記入する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。 ※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。
- (2) 本大会では外部指導者（コーチ）をおくことができる。外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とし、所定の「外部指導者（コーチ）確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、長野市実行委員会事務局に参加申し込みの際、提出する。ただし、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者（コーチ）にはなれない。なお、同一人が複数校の外部指導者を兼ねることは差し支えない。また、引率者としての外部指導者（コーチ）の費用は、原則として自己負担とならないようにする。
- (3) 外部指導者（コーチ）は、スピードスケート競技男女各校2名、フィギュアスケート競技選手1名につき2名を上限人数とする。
- (4) 全中大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当しない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部指導者（コーチ）は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
- (5) 本大会の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長がやむをえないと判断した場合に限り、「全国中学校体育大会引率細則」^{※2}により、校長が引率者として承認した外部指導者（コーチ）に引率及び監督の資格を認める。

※2「全国中学校体育大会引率細則」参照

18 表彰

(1) スピードスケート競技

ア 個人は、男女各種目の第1位から3位までの者にメダルと賞状を、第4位から8位までの者に賞状を授与する。

イ 最優秀選手を男女各1名選出し、文部科学大臣より盾を授与する。最優秀選手の選出については、日本中学校体育連盟スケート競技部員が選考基準を基に選考をする。

(2) フィギュアスケート競技

男女とも最終結果第1位から3位までの者にメダルと賞状を、第4位から8位までの者に賞状を授与する。また、第1位の選手に文部科学大臣より盾を授与する。

なお、男女1位から3位の選手は、表彰式の前に模範演技（エキシビション）を実施する。

19 式典（開始式・閉会式）

	スピードスケート	フィギュアスケート
開始式	1月31日（土）9：40-10：10 エムウェーブ（リンク中央）	2月1日（日）8：00-8：30 ビッグハット（リンク内）
閉会式	2月3日（火）表彰式終了後 エムウェーブ（リンク中央）	2月3日（火）表彰式終了後 ビッグハット（リンク内）

- (1) 開始式は競技（スピード、フィギュア）ごとに行う。
- (2) 開始式での整列は行わない。ただし同時に会場内にいる場合には、原則として2階の指定エリア席に着席すること。
- (3) 選手関係者はエムウェーブ：北側1階出入口、ビッグハット：東側1階出入口から入場する。
保護者及び一般観戦者はエムウェーブ：南側2階出入口、ビッグハット：東側2階出入口から入場する。
- (4) 各都道府県中学校体育連盟旗については掲揚しない。

20 代表者会議・日本中体連競技部会

	スピードスケート	フィギュアスケート
競技部会	■ 1月30日（金）14:30～ ■ エムウェーブ会議室	
代表者会議	■ 1月30日（金）16:00～ ■ エムウェーブ会議室 ・各校代表者各1名 ＊外部指導者（コーチ）も参加可能	留意事項については、 大会HPにて大会前に周知 代表者会議は行わない。

21 大会参加申込

(1) 参加申込に係る手続き

- ア 学校・クラブごとに所定の参加申込書に必要事項を記入の上、学校長・クラブ代表者の押印がされた申込書をスキャンしてPDFデータを作成する。スキャンしたPDFとExcelの2種類の申込書データをクラブ・個人登録のある都道府県中学校体育連盟会長宛にデータ送信すること。
- イ 参加申込の提出を受けた各都道府県中学校体育連盟会長は、申込データに基づき学校・クラブ単位で集約し、所定のオンラインフォームに入力する。またフォームへの入力と併せて、学校・クラブから提出を受けたスキャンデータ（PDF形式）をE-mailで実行委員会事務局に送信すること。
- ウ 参加申込書の提出以外に日本スケート連盟マイページより必ずオンラインエントリーを行うこと。ただし、副申込書の提出は必要としない。参加申込書とオンラインエントリーに相違があったときは、選手氏名を除き、参加申込書の内容により以後の処理を行うものとする。

エ 問い合わせ・申込書送信先

〒380-8512	長野県長野市大字鶴賀緑町 1613 番地 長野市 スポーツ部 スポーツ課内 全国中学校スケート大会長野市実行委員会事務局 宛 TEL 026-224-7804 FAX 026-224-7351 ホームページアドレス https://www.skate-n.jp/ Eメールアドレス skating-nagano@nifty.com	公式 HP 
-----------	--	--

オ 申し込み締切 令和8年1月13日(火) 17:00 必着

(2) 参加料等の振り込み

各都道府県中学校体育連盟は、参加申し込みと同時に、参加料・滑走料・プログラム代等を振り込むこと。(振込手数料は、申込者負担とする。また、申込締切以降の参加取り消しや不出場の場合、参加料・滑走料等の返金は行わない。) ※ 必ず都道府県中体連でまとめて振り込みを行うこと

八十二銀行 長野市役所支店 普通預金 口座番号 224433
口座名義： <small>ぜんこくちゅうがっこう</small> 全国中学校スケート大会長野市実行委員会 <small>じむきょくちょう</small> 事務局長 <small>たかいけ</small> 高池 <small>まさゆき</small> 正之

22 宿泊・輸送・弁当の申し込み

宿泊等については、「宿泊・輸送・弁当 取扱・申込要項」による。適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、必ず、以下の指定業者を通して申し込みすること。(指定外の宿泊施設の利用は、原則として認めない。)

申込先・変更等連絡指定業者

株式会社日本旅行 長野支店 〒380-0821 長野県長野市上千歳町 1137-23 リアライズ長野ビル1階 TEL 026-232-6152 FAX 026-232-4526 担当者：佐藤 圭 【営業時間】9:30～17:30 土、日、祝祭日、年末年始(12/26～1/4)は休業
--

申込締切 (輸送) 令和8年1月6日(火) 17:00 必着

(宿泊・弁当) 令和8年1月13日(火) 17:00 必着

※ 航空・JR・貸切バスの申込みは令和8年1月6日(火) 17:00 必着

23 その他

■ 医事救護関係

(1) 期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ行う。また、本大会は独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。なお、参加者は健康保険証を持参することが望ましい。(健康保険証がない場合は保険医療が受けられない場合がある。)

■選手受付関係

- (2) 選手受付は、次のとおり、中学校・クラブ単位、種別(スピード・フィギュア)ごとに行う。
受付では、大会プログラム、記念品、IDカード、領収書を渡す。
なお、大会プログラムの無償配布は、競技ごと各学校1冊とする(監督・コーチへの大会プログラムの無償配布はしない)。大会プログラムは、参加申込と同時に申し込むこと。

スピードスケート	フィギュアスケート
・有料練習受付時 ・来会初日受付時 場所：エムウェーブ	・来会初日受付時 場所：ビッグハット

■競技関係

- (3) 参加申込の際、記入漏れや違反があった場合は、大会本部にて判断し出場を取り消すこともある。
- (4) 日本スケート連盟「連盟公式競技会での競技者に着用が許されるスケート用品・用具の商業マークについての規程」に規定されたユニフォームの製造メーカー以外の商業マークは禁止する。

■その他

- (5) 諸事情により参加できなくなった場合は、その旨を速やかに長野市実行委員会事務局へ連絡すること。なお、申込締切以降の参加取り消しや不出場の場合、参加料・滑走料等の返金を行わない。ただし、申込締切以降にやむを得ず大会が中止となった場合には、滑走料及び有料練習料のみ返金を行う。
- (6) 各会場の更衣室は、指定箇所を譲り合って利用すること。なお、更衣室では更衣のみ行い、その他休憩等は観客席を利用すること。また、貴重品の管理は各自の責任において行うこと。
- (7) スピードスケート会場(エムウェーブ)でのエッジ研磨は、2階北側に指定スペースを用意するので、敷物を敷いて行うこと。
- (8) 本大会に関わる全ての者の感染症対策については、(公財)日本中学校体育連盟の「インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について」に従うこと。

式 典 要 項

1 開始式（スピードスケート競技、フィギュアスケート競技別に実施）

(1) スピードスケート競技

ア 日時

令和8年1月31日（土） 9:40～10:10

イ 場所

エムウェーブ（長野市オリンピック記念アリーナ）

ウ その他

- a 参加は不要です。ただし、同時刻に会場内にいる選手、監督、コーチ等は、2階の選手団席に着席してください（都道府県ごとに座席を指定する予定です）。
- b 都道府県中学校体育連盟旗の掲揚は行いません。
- c 保護者・一般観覧者はエムウェーブ南側2階出入口から入場し、2階南側の指定エリア内の席に着席してください。

エ 式次第

- a 開式通告 司会者
- b 開会宣言 大会委員長（公益財団法人日本中学校体育連盟 スケート競技部長）
- c 大会長挨拶 公益財団法人日本中学校体育連盟会長
- d 激励のことば 公益財団法人日本スケート連盟会長
- e 閉式通告 司会者

(2) フィギュアスケート競技

ア 日時

令和8年2月1日（日） 8:00～8:30

イ 場所

長野市若里多目的スポーツアリーナ（ビッグハット）

ウ その他

- a 参加は不要です。ただし、当日会場内にいる選手、監督、コーチ等は、2階の選手指定エリア範囲内の席に着席してください。
- b 都道府県中学校体育連盟旗の掲揚は行いません。
- c 保護者及び一般観戦者はビッグハット東側2階出入口から入場し、指定エリア範囲内の席に着席してください。

エ 式次第

- a 開式通告 司会者
- b 開会宣言 大会委員長（公益財団法人日本中学校体育連盟 スケート競技部長）
- c 大会長挨拶 公益財団法人日本中学校体育連盟会長
- d 激励のことば 公益財団法人日本スケート連盟会長
- e 閉式通告 司会者

2 閉会式（スピードスケート競技、フィギュアスケート競技別に実施）

(1) スピードスケート競技

ア 日時

令和8年2月3日(火) 競技終了後

イ 場所

エムウェーブ（リンク中央）

ウ その他

a 選出された選手については、放送案内によりリンク中央に集合してください。

b 選出された以外の参加者は、2階の選手団席に着席してください。

エ 式次第

a 開式通告

b 最優秀選手表彰

（ 最優秀選手 文部科学大臣名盾を授与する。 ）

d 大会長あいさつ

e 閉式通告

(2) フィギュアスケート競技

ア 日時

令和8年2月3日(火) 競技終了後

イ 場所

ビッグハット（リンク内）

ウ その他

男女1位から3位選手のエキシビション終了後、表彰式を実施します。

エ 式次第

a 開式通告

b 表彰式

c 大会長あいさつ

d 閉式通告

（ 1位 賞状、メダル、文部科学大臣名盾を授与する。 ）

2位、3位 賞状、メダルを授与する。

4位～8位 賞状を授与する。 ）

練習(有料練習・公式練習)要項

※令和6年度より、フィギュアスケートの有料練習は設けておりません。

1 有料練習について

- (1) 期 日 令和8年1月30日(金)
 (2) 会 場 スピードスケート競技 — エムウェーブ
 (3) 申し込み等 希望者は、参加申込書(スピードスケート様式1)により申し込み、有料練習料(1人1,000円)を振り込んでください。監督・コーチは無料です。

<振込先>

八十二銀行 長野市役所支店 普通預金 口座番号 224433

口座名義：ぜんこくちゅうがっこう 全国中学校スケート大会長野市実行委員会
じむきょくちょう 事務局長 たかいけ 高池 まさゆき 正之

- (4) その他
 ア 更衣室は指定した部屋を譲り合ってご利用ください。また、ゴミは必ず持ち帰ってください。
 イ スピードスケート競技の有料練習については、参加選手以外の滑走も可能とします。ただし、公式練習(1月31日～2月3日)は、参加選手以外の滑走は認めません。

■スピードスケート競技【開場8:00 閉場19:00】

- ア 10:00～15:45まで有料練習とします。整氷作業、その他アナウンス等に従い、事故のないように練習してください。
 イ 会場の出入りはエムウェーブ北側1階正面をご利用ください(1月31日からの出入口とは異なります)。その際、選手団受付にて所属名、氏名をお知らせください。大会プログラム、記念品、IDカード、領収書をお渡しします。監督・コーチはIDカードを付けてリンクにご入場ください。
 ウ バスで来場の選手団はエムウェーブ南のバス専用駐車場を利用してください。自家用車の方は指定する駐車場を利用してください。
 エ 都道府県ごとに利用時間を設定します。利用時間が複数あっても、選手1人につき1枠のみの利用としてください。枠内の割り振りは、各都道府県中学校体育連盟が決定してください。

練習時間	10:00 -10:45	11:15 -12:00	12:30 -13:15	13:45 -14:30	15:00 -15:45
都道府県	長野県	北海道	北海道	左記以外の都府県	左記以外の都府県

2 公式練習（ウォームアップ）について

(1) スピードスケート競技（エムウェーブ）

1月31日（土）	① 7:40 - 9:10 ② 10:10 - 10:50 ③ 14:20 - 14:50 ④ 競技終了後 40 分間	公式練習 - 当日の種目参加者以外 ウォームアップ - 3000m 参加者のみ ウォームアップ - 女子 3000m 参加者のみ 公式練習
2月1日（日）	⑤ 7:40 - 8:20 ⑥ 8:45 - 9:25 ⑦ 13:20 - 13:50 ⑧ 競技終了後 40 分間	公式練習 - 当日の種目参加者以外 ウォームアップ - 1000m 参加者のみ ウォームアップ - 女子 1000m 参加者のみ 公式練習
2月2日（月）	⑨ 7:40 - 8:20 ⑩ 8:45 - 9:25 ⑪ 12:20 - 12:50 ⑫ 競技終了後 40 分間	公式練習 - 当日の種目参加者以外 ウォームアップ - 5000m、500m 参加者のみ ウォームアップ - 500m 参加者のみ 公式練習
2月3日（火）	⑬ 7:40 - 8:20	ウォームアップ - 1500m 参加者のみ

* ③、⑦、⑪の練習時間は、参加人数によって時間が前後する場合があります。

(2) フィギュアスケート競技（ビッグハット）

1月31日（土）	① 14:30 - 17:20 ② 17:20 - 18:35	公式練習（女子 S P） 公式練習（男子 S P・A参加者）
2月1日（日）	③ 17:20 - 20:10 ④ 20:10 - 21:25	公式練習（女子 S P・B参加者） 公式練習（男子 S P・B参加者）
2月2日（月）	⑤ 17:20 - 18:20 ⑥ 18:35 - 19:35	公式練習（女子 F S） 公式練習（男子 F S）
2月3日（火）	⑦ 7:00 - 8:00 ⑧ 8:15 - 9:15	公式練習（男子 F S） 公式練習（女子 F S）

* S P公式練習の順番（滑走時間帯）は、S P滑走順抽選（事務局の責任抽選）を行った後、1月中旬頃に全中 HPにてお知らせします。

* 日程は参加者の申込み状況、進行状況等により変更になります。

令和7年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校スケート大会
医事救護要項

1 目的

全国中学校スケート大会に参加する大会関係者及び観客等に対する医事救護に万全を期するため、競技会場内に救護室を設置し、快適な条件のもとに最良の競技、運営、取材及び観覧ができるよう医療機関と十分な連携を図る。

2 基本方針

- (1) 長野市医師会及び長野市保健所の協力を得て、各競技会場に救護室を設置する。
- (2) 救護室には、医療機関から派遣された医師、看護師、または長野市保健所から派遣された保健師を配置する。
- (3) 医療機関については、長野市医師会の協力を得て、いずれの医療機関でも速やかに受診できるようにする。
- (4) 夜間・休日については、夜間診療当番医院・休日診療当番医院で受診できるようにする。
- (5) 救急車については、長野市消防局との連携により、対応に万全を期する。
- (6) 宿舎における対応に万全を期するため、宿泊等取扱事業者と連携し、参加者の宿泊状況の把握及び緊急時の連絡体制を確立する。

3 競技会場における医事救護

- (1) 各競技会場に次のとおり医事部医事救護係を編成する。

要員	人数	勤務場所及び備考
医事部長兼医事救護係長	1名	救護室（各会場）
医師	1名	救護室 ※ 競技日・スピード会場のみ
看護師	1名	救護室 ※ 競技日・スピード会場のみ
保健師	1名	救護室 スピード会場 練習日（1/31）のみ フィギュア会場 全期間中
救護担当	1名	リンクサイド（各会場） 上記の者が兼務

- (2) 救護室の開設時間は、開催日の開館時間から閉館時間までとし、必要に応じて開設時間を変更する。
- (3) 救護室の設備等
 - ア 救護室内は、患者を収容するため内部を見えないよう配慮するとともに、清潔・整頓に留意し、部外者の立ち入りは一切禁止する。
 - イ 救護室の位置を明示するため会場内に看板等（誘導表示）を設置する。
 - ウ 救護室に簡易ベッドを備える。
 - エ 応急処置の万全を期するため、医薬品、医療器具その他必要な物品を備える。
 - オ 大会関係者名簿を置く。ただし、原本は大会本部で保管する。

(4) 医事救護係の業務

- ア 患者に対して応急処置及び軽易な治療。
- イ 患者を医療機関に移送する必要があると認めたときは、直ちに救急車の出動を要請し、患者及び付添者とともに移送する。
- ウ 移送医療機関への連絡。
- エ 患者の監督等責任者への連絡。
- オ 救急患者を処置したときは、「救急患者発生速報」により、直ちに会場責任者に報告する。
- カ 長野市保健所への連絡（食中毒・インフルエンザ・新型コロナウイルス・ノロウイルスの発生時等、必要に応じて実施）。
- キ 救急薬品等の補充。
- ク 翌日勤務予定の医師、看護師等への連絡・確認。

(5) 医療機関での受診方法及び医療費の負担

- ア 患者は、受診の際は保険証を医療機関に提出することとする。
- イ 医療機関は、患者の医療費については直接本人へ請求するものとする。

(6) 事務処理

- ア 患者が発生した場合は、「救護台帳」へ記載する。
- イ 必要に応じ、患者又は引率者等に対し「受診依頼書」を交付する。
- ウ 医療機関に移送した場合、患者の所属校責任者は「救護報告書」を作成し、当該会場本部に提出する。
- エ 当日の業務終了後、「救護日誌」を作成し、その概要を会場責任者へ報告する。
- オ 大会終了後、「取扱患者一覧表」を会場責任者へ提出する。

4 宿舎における医事救護

(1) 連絡体制の確立

宿泊・輸送・弁当取扱事業者（旅行代理店）との連携により参加者の宿泊状況を把握し、緊急時等の連絡体制を確立する。

(2) 宿舎における対応

宿舎提供者（宿泊施設）は、大会参加者が宿舎において発病した場合、最寄りの医療機関を紹介、もしくは救急車を要請して対応するとともに、速やかに長野市実行委員会（各会場責任者）に報告する。

5 インフルエンザ・新型コロナウイルス・ノロウイルス等への対応

(1) 予防措置

各競技会場及び宿舎の入口等に手指消毒薬を設置する。

監督又は引率者等は、参加選手にうがい、手洗い、マスク着用などの予防に努めるとともに、「健康監察記録」により、参加者全員の健康監察を行うものとする。

(2) 受診（症状が確認された場合）

発熱（37.5℃以上）・関節痛・筋肉痛・喉の痛み・頭痛・全身の倦怠感・鼻水または鼻づまり・咳など、インフルエンザ様症状が確認された場合は、医療機関の指示を受けた上で受診する。

(3) 会場本部への報告

医療機関受診後は、感染の有無に関わらず「受診報告書」により会場本部に報告する。

(4) 二次感染の予防措置

ア 感染者及び発病者

大会への参加について不参加とし、必要に応じて他の参加者と隔離する手段を講じる（救護所、宿泊施設の別室用意等）。監督又は引率者等は「罹患届出書」を会場本部に提出する。

イ 濃厚接触者（感染の恐れのある者）

大会への出場については、参加各校の責任者の判断によるものとする。

責任者は、関係医療機関等の指導・指示を仰ぐなど、二次感染防止を念頭に最善の判断を行うこと。

ウ 大会期間中の二次感染の対応

感染（発病）が発生した場合、会場本部及び大会本部は、医療機関、保健所等と連携・協力し、適切な指示、指導の徹底を図り、二次感染の防止に努めるものとする。

(5) 学校閉鎖、学級閉鎖等にある大会参加校、クラブ

ア 参加の可否の決定

当該中学校及び中体連は、選手らの健康観察を迅速かつ的確に実施し、これらの情報を踏まえ慎重に派遣の可否を決定する。なお、可否の決定は長野市実行委員会に報告しなければならないものとする。

イ 不参加の場合の補充

■大会申込前 — 補充については、当該中体連及び競技部に一任される。

■大会申込後 — 補充のための大会出場は認めない。

